

『教育』に関する量の見込み及び確保方策について

1. 区域A

(1) 特性

- 過去5年間の人口や就学前児童数が増加傾向にある
○量の見込みが現状の提供体制を上回っている（供給不足）

(2) 各年度の量の見込みと確保方策

(単位：人)

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	1号認定 (教育標準時間)		2,332	2,314	2,274	2,248	2,263
	2号認定 (教育利用希望)		236	235	231	228	230
①量の見込み合計			2,568	2,549	2,505	2,476	2,493

年度当初定員数	特定教育・保育施設 (認定こども園、幼稚園)	2,114	2,114	2,239	2,354	2,505	2,505
	(確認を受けない幼稚園)		0	0	0	0	0
	②小計		2,114	2,239	2,354	2,505	2,505

各年度で確保する定員数	1) 認可外保育施設の新制度への移行						
	認可外保育施設の認定こども園への移行	90	30	0	0	0	
	2) 既存施設の活用						
	認可保育所の認定こども園への移行	0	10	60	0	0	
	公立幼稚園の定員の見直し	35	35	70	0	0	
	3) 新規施設などの整備						
	認定こども園の新設	0	40	21	0	0	
	③小計	125	115	151	0	0	
④定員数合計(②+③)		2,239	2,354	2,505	2,505	2,505	

量の見込みと定員数の差(④-①)	▲329	▲195	0	29	12
------------------	------	------	---	----	----

※26年度は平成26年5月1日現在の定員数

※供給過剰となる場合は、提供体制の適正化を図ります。

2. 区域B

(1) 特性

- 過去5年間の人口や就学前児童数が減少傾向にある
- 量の見込みが現状の提供体制を上回っている（供給不足）

(2) 各年度の量の見込みと確保方策

(単位：人)

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	1号認定 (教育標準時間)		157	158	162	163	160
	2号認定 (教育利用希望)		0	0	0	0	0
①量の見込み合計			157	158	162	163	160

年度当初定員数	特定教育・保育施設 (認定こども園、幼稚園)	105	105	105	135	163	163
	(確認を受けない幼稚園)		0	0	0	0	0
	②小計		105	105	135	163	163

各年度で確保する定員数	2) 既存施設の活用						
	認可保育所の認定こども園への移行	0	30	0	0	0	
	認定こども園の定員の見直し	0	0	28	0	0	
	③小計	0	30	28	0	0	
④定員数合計 (②+③)		105	135	163	163	163	

量の見込みと定員数の差 (④-①)		▲52	▲23	1	0	3
-------------------	--	-----	-----	---	---	---

※26年度は平成26年5月1日現在の定員数

※供給過剰となる場合は、提供体制の適正化を図ります。

3. 区域C

(1) 特性

- 過去5年間の人口や就学前児童数が減少傾向にある
- 現状の提供体制が量の見込みを上回っている（提供体制確保済）

(2) 各年度の量の見込みと確保方策

(単位：人)

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	1号認定 (教育標準時間)		355	338	339	336	346
	2号認定 (教育利用希望)		96	92	92	91	94
①量の見込み合計			451	430	431	427	440

年度当初定員数	特定教育・保育施設 (認定こども園、幼稚園)	590	590	600	615	615	615
	(確認を受けない幼稚園)		0	0	0	0	0
	②小計		590	600	615	615	615

各年度で確保する定員数	2) 既存施設の活用						
	認可保育所の認定こども園への移行	10	15	0	0	0	0
	③小計	10	15	0	0	0	0
④定員数合計 (②+③)		600	615	615	615	615	615

量の見込みと定員数の差 (④-①)	149	185	184	188	175
-------------------	-----	-----	-----	-----	-----

※26年度は平成26年5月1日現在の定員数

※提供体制の適正化を図ります。